

作成 2017年 5月 9日

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	ヒアベスト(S)LF-P	
会社名	キューピー株式会社	
住所	東京都渋谷区渋谷 1-4-13	
担当部門	ファインケミカル本部	
電話番号	03-5384-7779	(大阪) 06-6369-3388
緊急時連絡電話番号	03-5384-7779	(大阪) 06-6369-3388
FAX 番号	03-5384-7879	(大阪) 06-6369-6934
推奨用途及び使用上の制限	食品用途	

2. 危険有害性の要約

GHS 分類による危険有害性	該当しない
その他危険有害性	該当しない

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	単一製品
化学名又は一般名	ヒアルロン酸
別名	ムコ多糖
CAS 番号	9004-61-9, 9067-32-7

4. 応急処置

吸入した場合	うがい等で鼻孔、口腔を清浄にする。
皮膚に付着した場合	水洗する。
目に入った場合	直ちに清浄な流水で 15 分以上洗眼する。
飲み込んだ場合	水で口の中を洗浄する。

本品は有害物ではありませんが、痒み、炎症等あれば、医師の手当てを受けて下さい。

5. 火災時の措置

消火剤	水噴霧、砂、粉末、泡沫等。
消火方法	消火剤を火元へ放射、散布して消火する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

本品は食品添加物であり、特に注意は必要なし。但し、状況に応じ保護具（保護メガネ、防塵マスク、保護手袋等）を着用する。

環境に対する注意措置

できる限り回収し、河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

回収、中和、封じ込め及び浄化方法と機材

粉塵発生を防止するため水でしめらせ回収する。少量はウエス等で拭き取り、多量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	使用時は粉塵を立てないように注意する。8. 暴露防止及び保護措置を参照。
保管	直射日光、高温多湿を避け常温に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

保護具	本品は食品添加物であり、通常は着用不要。但し、大量に取り扱う場合は保護メガネ、防塵マスク、ゴム手袋の着用が望ましい。
-----	--

9. 物理的及び化学的性質

外観等	白色～淡黄色の粉末
臭い	わずかに特異なにおい
pH	5.0～7.0 (0.1%水溶液)
融点・凝固点	データなし
初留点・沸点	データなし
引火点	データなし
爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重	データなし
溶解性	水に可溶。有機溶剤には不溶。
オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度	該当しない

10. 安定性及び反応性

通常の保管及び取扱いにおいて安定。

11. 有害性情報

急性毒性	マウスにおける急性経口毒性 (LD ₅₀) : 5000mg/kg 以上
皮膚刺激性	皮膚一次刺激性 : 刺激性なし* 累積皮膚刺激性 : 刺激性なし* ヒトパッチテスト : 異常なし*
眼刺激性	データなし
皮膚感作性	陰性*
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	無毒性量 : 50mg/kg/day* *
特定標的毒性	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし
亜急性毒性	許容一日摂取量 (ADI) : 34mg/kg/day* (ラットにおける 28 日反復経口投与より算出)
反復投与試験	腹腔内投与の無毒性量 : 15mg/kg/day* * 膝関節腔内投与の無毒性量 : 12mg/kg/day* *
変異原性	Ames : 陰性* 哺乳類培養細胞を用いた染色体異常試験 : 陰性* * マウスを用いた小核試験 : 陰性* *
その他	マウス、モルモットを用いた抗原性試験において、PCA 反応、能動全身性アナフィラキシー反応はいずれも陰性と認められている。* *

* : 弊社製 ヒアルロン酸ナトリウムのデータ

* * : 厚生省生活衛生食品化学課監修の「既存天然添加物の安全性評価に関する調査研究—平成8年度厚生科学研究報告書—」より

12. 環境影響情報

知見なし。

13. 廃棄上の注意

残余物及び包装材料の廃棄においては、関連法規ならびに国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意

国連分類、国連番号
その他

該当せず

高温、水濡れ注意。乱暴に取扱い容器を破損させない。

15. 適用法令

該当なし。

16. その他の情報

記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、必ずしも全ての情報を網羅しているものではありません。また、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。

また、注意事項は通常の見取り図を対象としたものですので、特別な見取り図をする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施のうえ、お見取り図をお願いします。